



訓練用消火器を使用した消火訓練も実施しました。

地震 雷 火事 用心!

藤里支店

藤里支店でニッ井消防署藤里分署の協力の下、消防計画書に基づいた避難誘導訓練を支店全職員が参加して行いました。通報係を担当した同支店渡部美穂子さんは「訓練と分かっているながらも、初めての119番通報に焦ってしまった。有事に備えて定期的な訓練の必要性を感じた。私自身外勤担当職として、これから乾燥で火災の起きやすい季節に入ることから、組合員の皆さんに火災予防について呼びかけして歩きたい。」と話します。訓練終了後には、支店内の消火器、火災報知器の設置場所等を目視で確認し非常時の対応について認識を共有しました。

新ブランド!?'浅ネギ'学習発表会で限定販売!

営農部・経済部

浅内小学校の5年生児童17人は6日、総合的な学習の時間でネギを栽培・販売しようと6月に校舎裏の畑で定植に挑戦し、立派に生長したネギの収穫並びに、皮むき、袋詰め作業を行いました。収穫されたネギは、同校名にちなんで『浅ネギ』と名付けられ翌7日に開催された同校の「学習発表会」で保護者や地域住民を対象に販売されました。原田明良君は「クラスメイトと協力して、草取りや水やりを頑張った甲斐あって太く立派なネギを収穫することが出来て嬉しい。学習発表会では、「いらっしやいませ」などの声かけを頑張って販売を目指します。」と力強く語ってくれました。



浅ネギー一本一本丁寧に袋詰めしました。



完成したクレソン料理を女性部員と試食

地元特産を探求～初めてのクレソン～

女性部藤里支部

藤里小学校の4年生児童15名は、「総合的な学習」の時間で、地元で栽培されている「クレソン」の栽培方法や調理法を探求することとし、女性部藤里支部（藤原京子支部長）が、「クレソン」の調理方法を指導する先生役として招かれ、11月13日に調理実習が行われました。「クレソン入りサラダ」「クレソンとベーコンの炒めもの」等の4品を調理しました。石岡優衣さんは「クレソンは炒めると苦くなくておいしかった。」淡路清士郎さんは「初めてのクレソン料理は美味しかったので家でも作ってみたい。」とそれぞれの感想を教えてくださいました。

来年はボウリング大会出来るといいな～

女性部能代支部

女性部能代支部の恒例行事である「ボウリング大会」。楽しみにしていた大会も今年度はコロナ禍の影響により開催を見合わせて、「健康管理講習会」を11月26日に開催しました。佐々木博子支部長も「コロナに負けないように自分も含め家族の体調管理を整えてあげましょう。」とあいさつ。講習会では、JA県中央会職員が講師を務めて健康に関する講話や、介護予防運動などを行い参加した27人の女性部員は椅子を使った軽運動などで軽い汗を流していました。会場を後にする女性部員からは「来年はボウリング出来るといいね」といった声が聞こえてきました。



軽運動で汗を流す女性部員



完成した「オリジナル年賀はがき」



年賀状で「白神ねぎ」をPR

能代市環境産業部ねぎ課

能代市環境産業部ねぎ課は、同課のマスコットキャラクター「白神ねぎのん」と「白神ねぎ」、「能代市の魅力」を全国に向け広く周知するため、「令和3年用オリジナル年賀はがき」を能代市と当組合の公的年賀はがき用と、両職員有志の個人購入分約5,000枚を作成しました。デザインは、表面の切手下に「白神ねぎのん」のイラスト、下段のお年玉くじ番号上には「白神ねぎ」の写真が印字されています。市ねぎ課山田課長は「年賀状という不特定多数の方に情報発信できるツールとして、新年のご挨拶とともに、一人でも多くの方から「白神ねぎのん」や「白神ねぎ」の印字を目にしてもらい、知名度が上がってくれたら」と効果を期待します。

主張!「次の世代につなぐ農業」

青年部

県JA青年部協議会は11月20日に110人が参加して「JA青年大会」が秋田市で開催され、当組合青年部からも8名が参加しました。同協議会の佐藤岳杜委員長は「コロナ禍の影響で思うような活動が出来ないが、同大会で盟友の交流を深めて考える機会になってもらいたい。」とあいさつ。JA青年部の主張発表大会には齊藤洋さん（能代市四日市地区）が当青年部を代表して演台に上がり、「次世代の若手就農者に、農作業に対する高いモチベーションを持ち続け、辛い仕事も楽しく感じる事が出来る環境をこれから整えて行きたい。」と堂々主張しました。



堂々と主張する齊藤さん



肥料農薬WEB注文システムログインQRコード
当組合HPからもログイン可能です。
操作方法等のお問い合わせは経済課(55-0777)へ。



新年の肥料農薬のご注文はお済ですか?

経済部経済課

肥料・農薬の適正使用を説明するため、11月24日と25日に、「肥料・農薬レベルアップ研修会」に生産者ら約50人が参加して開催されました。2日間で7時限に分けて行われた研修では、ecoらius対応の稲作技術や病害虫の発生状況と次年度への対策、除草剤の効果的な使用方法などを説明。参加者らは熱心に聴講していました。参加者らが最も関心があったのは『肥料農薬WEB注文システム』。経済課職員は「使ってみれば思ったよりも簡単なので是非利用してもらいたい。不明な場合はいつでも担当職員が駆けつけて一緒に操作を行います。」と話します。